

第2回すいとぴあ江南の今後を考える市民会議会議録

日時 令和8年7月24日（金） 午後2時00分～午後4時15分

場所 すいとぴあ江南2階 研修室B

委員出席者 森岡孝文、波多野智章、坪内貢、森真奈美、宮澤恵子、
伊神眞一、日比野栄寿、山村仁美
計8名

事務局出席者 経済環境部商工観光課

開会 午後2時00分

1. あいさつ

会長 森岡孝文

2. 本日のスケジュール及びすいとぴあ江南施設見学

3. 議題

（1）将来像の整理

議 長 事務局に説明を求める。

事務局 資料に基づいて説明する。

議 長 それでは本日の資料の5ページと6ページについてこれより委員の皆様からご意見をいただきたい。

委 員 対象者の整理として優先順位をつけるため、資料に対象者が挙げられている。優先順位ということであれば、1番というのは必ず残さなければいけないもの、2番はその次に残さなければいけない、と考えた場合、極端な話にはなるが、最下位はなくすということで順位をつけるのか。

事務局 優先順位なのでそのような意味でよいと考える。

委 員 例えば1番2番は順位を付けたが、そのあとはどのような基準で順位を付ければよいのか基準を教えてほしい。例えば収益による基準はあるのか。

事務局 基準は特にはない。委員の意見や昨年度実施した座談会やアンケート内容を踏まえて決定していく形になる。ただし、優先順位が低いからといって、必ずその対象を切り捨てるということではない。また、今回資料として提示している項目すべてに順位を付けなければならないというものでもなく、3番目まで決めて、あとは同順位という

意見でもよいと考える。これらは議論の中で決めてもらえればよいと考える。

冒頭で説明したとおり本日の議論のテーマとしては、すいとぴあ江南エリアにとって、誰のために、どのような役割が必要かについて、昨年実施した座談会や市民アンケートの結果をもとに、整理をしてほしい。本日はすいとぴあ江南にある施設の多目的ホールを残す、レストランを残す、という話ではなく、将来像の整理ということで、すいとぴあ江南エリアにおいて、こういった機能が必要かということについて議論をお願いしたい。

委員 今、江南市では統廃合などの形で地域にある児童館を 1 ヶ所に集約している。そのため、小さい子どもを連れた親が気軽に遊びに行ける場所や子どもを遊ばせられる場所がなく、そのような場所があるとよいと考える。

また、子どもが勉強する場所として toko+toko=labo や近々オープンするウィステリアプラザなどはあるが、北部地域の住民からすると遠く、子どもだけで自転車で行かせることは心配で、車で送迎をしなければならない。そのため、すいとぴあ江南エリアにも学習室があるとよい。

現在、すいとぴあ江南にも学習室が設けられているが、本日の施設見学で確認したとおり、閉鎖的で人が居ないと、何かあった時に怖いと感じるため、安心して利用できる学習室がほしいと考える。

議長 機能の整理について委員から、基準がわからない、との質問があったが、考え方として次の様に考えてはどうか。

例えば、対象者を「子育て世代・子ども」とした場合、先ほどの委員の意見で考えると、対応する機能としては、「子どもの遊び場を提供する」となる。ここで間違っはいけないのは「子どもの遊び場」ではないこと。「子どもの遊び場」としてしまうと、施設やモノのことを指すことになるが、今回の議論での機能は活動ということでもあるため、「何々をする」という表現がよい。

対象者を「子育て世代・子ども」として、持たせたい機能、活動を「子どもの遊び場を提供する」とする。そしてそれらを実現するために望まれる施設として、例えば先ほど委員の意見からは学習室というものが出てくるとなる。

確かに、本日の資料には、機能、活動と施設、設備が同列に標記されており、わかりにくくなっている。今回の資料を整理すると、対象者がいて、機能による活動があり、それを行う設備や施設がある

となる。

また、基準がないと優先順位はつけにくいとのことだが、優先順位は委員の立場により変わると考える。今回の検討内容においては、これは絶対に必要であるなどの一般化は難しいと考える。しかし、優先順位の意見が立場によって異なることは、それでいいと考える。もう 1 つ重要なことは、機能や活動から考えたときに、A という機能や活動は B という機能や活動を支えている関係になるという考えも出てくる。すると、A という機能や活動は別の機能や活動を支えているから非常に重要であり、優先度が高いという考えができる。このようにすると考えやすいと思う。

委員 優先順位の考え方の例の中で、収入というところをどのように考えるかを聞きたい。

優先順位をつけるうえで、すいとぴあ江南にとってどれだけ収入が得られるかというところも当然優先順位に影響してくると考える。そのため、優先順位を付ける際の考え方には収入について入れた方がいいと考える。この考えを入れることにより今後の収益が上がると思うがいかがか。

事務局 本日の議論は、すいとぴあ江南の施設についてではなく、すいとぴあ江南エリアに何があるとよいかを考える場です。現存のすいとぴあ江南の施設については本日の議論とは関係ありません。例えばの話として、もし、すいとぴあ江南エリアが更地であり、このエリアを活用しようと考えた時に、どのような人のために、どのようなものがあつたらいいかという議論をお願いしたい。

議長 今の施設ではなく、ほしいと思われる施設設備とするとわかりやすい。

委員 本日は施設については考えなくてもいいということでよいか。

事務局 本日は委員の皆さんが理想とするものを考えていただきたい。

委員 収益や損益などは考えず、どんな場所であればいいかという議論ですね。

事務局 なお、本日の会議でまとめた将来像と、現在のすいとぴあ江南について考える作業は次回以降に行うことを考えている。

議長 今回の議論は一般論で、具体的なものは考えないということ。また、すいとぴあ江南の施設や設備についてではなく、対象者に合う機能や活動は何があつたらいいかという議論になる。

委員 例えばレストランが優先順位 1 番としてもよいのか。

議長 今の意見であれば、食事をする場があつた方がいいという意見と思

われるので、「食事を楽しむ」という機能や活動が望まれるという意見としてお願いしたいということです。

委員 本日の施設見学をとおして、対象者の整理としては「子育て世代・子ども」「高齢者」が優先順位で1番、2番になるのではと第一に感じた。すいとぴあ江南は退職されたくらいの方が利用の対象になっている施設だと感じる。例えばヘルスルームは毎日働いてる世帯の利用は少ないと思われるし、食事処の翠江亭は60歳や70歳の方が多く利用している。ただ、いわゆる子育て世代がすいとぴあ江南に来て利用できる施設は今のところ無いと感じる。今後、すいとぴあ江南で賑わいを創出するのであれば、今回の優先順位をつけるにあたり、子育て世代をどのようにして取り込むかについて考えた方がよいと考える。そのためには、例えば屋外に遊園地らしいものを作る、つまりは「遊びの場を提供する」ことについて話を詰めることができればいいのではないかと思う。

ただ採算について我々が全く考える必要はないとは言わないが、今回はこの点を深く考えると話が進まないと思われるため収支については触れないこととする。

議長 コストについて今回は関係ない。今回は対象者が誰で、その人がどういう活動ができることが望ましいのか、ということを議論して欲しい。

今回は一般化した考えを提案することです。どういう人たちが重要で、その人たちはどんな機能を欲しているかということを一般的な考えで発言してほしい。そのため、今のすいとぴあ江南については関係なく、コストや収益も検討の必要はないということですね。

事務局 端的には、理想を語っていただければ一番いい。

委員 できれば幼児から高齢者、全世代がすいとぴあ江南に来て、食事や軽食ができ、くつろげるような場所があればいいと考える。また、ファミリー層が散歩に来てくつろげるような場所があればいいと考える。

議長 前回、委員からすいとぴあ江南に対しての提案があったが、それはすいとぴあ江南という施設や設備があることが前提の話であった。しかし、内容としては施設や設備から離れて議論する今回であっても有効な意見だと考える。今回すいとぴあ江南の施設、設備のどれを残すか、という話ではなく、一般的な考えとして、どの対象者に対してどのような機能が重要で必要なのかについて、話し合うということです。

- 委員 資料の順番では、最初に対象者の整理ということで優先順位をつけていくことになっているが、これが本当に難しく、全ての対象者が重要と考えられ、優先順位はつけられない。しかし、その次の機能の整理の項で機能について優先順位を付ける段階に進んだ時に初めて優先順位がつけられるのではないかと感じている。この辺りが気になり、自分の中で検討が進まない。
- 議長 対象者の優先順位は付けられないという意見もあると思います。
- 委員 江南市内には市民文化会館があり、単なる講演会であれば市民文化会館を利用するが、200人、300人が集まるコンベンションやイベント行う場所になると、市内ではすいとびあ江南しかない。また、会社や協力事業者などが一堂に集まって大人数で行う新年会などの行事で市内の飲食店を利用しようとする、50人から60人が入る場所しかないが、すいとびあ江南の大広間であれば90人も入ることができるため、市内の場合はすいとびあ江南でしか行えないというものがある。仮に今のすいとびあ江南がなくなると結局名古屋市内の飲食店を利用することになってしまう。そういう意味においては、大規模の人数が入る多目的ホールや大広間はあるといいと考える。
- しかし、これだけのためにすいとびあ江南という施設を残すのはどうなのかという考えもある。
- また宿泊においても、すいとびあ江南がないと犬山市や名古屋市へ宿泊客が流出することになり、その分のお金が江南市に落ちない。すいとびあ江南でなくてもよいが、江南市内には宿泊施設があるとよいと考える。
- さらには、江南市のブランディングや地域活性化という意味合いの話としてだが、すいとびあ江南の近くで分譲を売り出していたが、通常は近隣の状況から推察しても買い手がつきにくい立地であるにもかかわらず、すいとびあ江南を庭の様に使えるという理由で入居したという話もある。このようなことから地域を豊かにする意味合いなどから考えた時にこのような施設は必要ではないかと考える。
- 議長 今の意見から考えられることとして、商工会議所などの地域団体や事業者にとっては持たせたい機能や活動として「会員同士の親睦を深める場を提供する」、「商品提供の場を提供する」となる。施設や場を前提にして考えてはいけませんが、対象者が何を望んでいるか、どんな活動をするのかについてこのように一般的に議論を進めましょう。
- 委員 私としては、「子育て世帯・子ども」を対象者とした場合、この対象

者はどんな機能があると良いかをつなげて考え、その上で優先順位を付けた方が分かりやすいと考える。例えば、地域活動をしている団体であれば、イベントを開催する場所が欲しい、会議する場所が欲しいとなるので、そのための機能は何かというところまでをつなげて考え、それが全体の中で何番の優先順位になるのかという検討はできると思う。

事務局 委員の意見のとおり、機能から考えた方が検討しやすいということであれば、議論の順番に決まりはないので、そのように進めてもらえばよい。

委員 近所の人同士の交流が少ないと感じている。また、ひとり暮らしの方も多いため、すいとぴあ江南エリアに集まり、交流ができる場があると活性化にもなりよいと思う。

議長 委員の話を一般化して落とし込んだ場合、例えば自治会にとっては、「自治会員同士の相互の親睦を図りたい」または、「自治会に属している、住んでいる高齢者の見守りをする機会が提供される」となる。場や施設が出てくるのではなく、あくまで対象者にとって何が必要で、どういう機能や活動が望ましいかと考えた方がよいと思う。

委員 草井には草の井サロンというものがあり、草井会館で健康を調べたり、話したり、体操するというのを月に 2 回程度、火曜日に行っている。このサロンは 11 時から 11 時半くらいまで行っているため、終了すると参加者は家へ帰ることになる。しかし、場合によっては参加者同士で食事や会話を楽しむとして、すいとぴあ江南へ立ち寄り、レストランを利用することもあると思われる。このように高齢者、特に独居老人の場合は他の人と会話ができる場はよいものと考ええる。

レストランでの食事以外でも娛樂室のカラオケを利用する、ギャラリーに飾られている絵を見るなど、人との繋がりを持ちながら半日を過ごすことができる。そういったことから、高齢者にとっては、すいとぴあ江南エリアにレストランがあるといいと考える。また、これに付随して複合的に何かあると嬉しいと感じている。

議長 今の委員の意見は個別事例であるが、これを今回の議論に落とし込むと、対象者が「高齢者」となり、望ましい機能、活動として食事により「交流、会話をする」。または、カラオケやギャラリーの作品を鑑賞することで「交流、会話をする」ということが必要だと考えられる。

個別の事例から一般化した意見をお願いしたい。本日の作業は、個

- 事務局 別事例に基づいて、それを一般化した表現にすることだと考える。
対象者と機能について、各委員の考えを資料に書いてあることだけではないのかもしれないが、資料の言葉も使い議論を進めてもらえばよい。
なるべく具体的な施設の機能や設備から離れて、理想を語ることが本日のテーマです。
- 委員 先ほどの委員の意見を資料の機能名に当てはめると、「交流する」「休息する」になるということか。
- 議長 その通りだと思う。交流、休息という名詞ではなく、機能や活動というものは動詞表現にした方がよい。名詞にすると設備に繋がる発想に向きやすく議論が小さくなる。「何々する」が機能や活動と考えると、広がりが出てくる。このように考えたほうがよいと思う。
- 委員 展望タワーは年始に日の出を見るために来場者があるから必要である。また、展望タワーを使って花火大会を高いところから見れるようにすると良いと考える。できれば花火大会はすいとぴあ江南でやってほしい。花火大会だけでなく、産業フェスタなどのイベントもすいとぴあ江南でやるべきだと考える。
産業フェスタでは野菜の展示会を多目的ホールで行っておりとてもよいため、多目的ホールは必要と考える。また、多目的ホールは洋服の展示即売会などの催しも行われて購買力を上げる効果があるため必要である。
また、市外の方を対象としたとき宿泊施設があるとよい。すいとぴあ江南を基盤として曼陀羅寺公園など市内の観光地を回ることができるなど、活用して江南市を知ってもらえる機会になるのではないかな。
- 議長 今回の個別事項の意見を一部、一般化すると、「マルシェやイベント、特定の行事活動によって地域活性化を図る」や「宿泊する」とできる。
- 委員 対象者の優先順位は少しつけがたい。
今回、すいとぴあ江南の施設を見学して、子育て世代はすいとぴあ江南を利用しないと改めて思った。
しかし、自分が子どもの時はみんなが集まる場所で、遊び場はすいとぴあ江南であった。当時はすいとぴあ江南のロビーで本を読む、ジュースを飲むなどしていた。また、水辺で遊ぶなどもしていたが、自分が大人になり、子育て世帯になると、少し暗い雰囲気もあり、子どもとすいとぴあ江南に来ることはなくなった。その代わり、子

供とはアクア・トトぎふ（河川環境楽園）に行くことが多くなった。それはなぜかと考えると、河川環境楽園は子どもだけが楽しいのではなく、親も一緒に楽しい場所だと考える。遊びの場があるから楽しいという訳でもなく、家族が楽しい場であるためだと考える。さらに、それはなぜかと考えたときに、河川環境楽園は水と緑と花があり、施設内を歩いた時、視線の先に道路や車が見えない。子どもや自身が自然の中にいる感覚で空気も美味しく思える場所と感じられ、構造物が視線に入らないこともあり癒される。そのようなことから、何気ない散歩でも河川環境楽園を多く利用する。また、駐車場も広く、敷地内への入場は無料で、軽い飲食ができる施設も備わっているため、子どもの喉が乾く、小腹が空く、ということがあっても施設内で対応ができる。1時間とか1時間半遊んで帰る場所という感じでよく利用する。

しかし、江南市からだと県を跨いだ先にあるため、市内にそのような場所があると嬉しい。

市内にはフラワーパーク江南があるが、遊具が敷地内の一部に少しあり、ウォーキングコースは敷地内を大きく円を書くように設置されているが、コースが平たんで景色の変化があまりない。そのようなことからフラワーパーク江南はあまり利用していない。こういったことから、なぜ大人もそこに行くのか、という考えも大事なのではないかと思う。

今のすいとぴあ江南も、水辺や緑があり、芝が綺麗に整えられ、犬の散歩が可能な場所になると、高齢者にとっても夕方にペットと散歩に来て、休憩できる場所にもなるのでよいのではないかと思う。

議 長 今の意見を一般化すると、対象者は「子育て世帯・子ども」機能、活動として「子育て世帯、子どもともに楽しめる遊び場を提供する」「自然観が満喫できる立ち寄れる場を提供する」ことが必要と表すことができる。

委 員 対象者の「事業者・出店者」の目線から見て、すいとぴあ江南をどのように活用できるかと考えた。

例えば「事業者・出店者」だと、すいとぴあ江南を利用して、自分たちのことや事業内容をみんなに知ってほしい、見てもらいたい、広めるということが目的だと考える。同様に、地域団体や自治会、例えば音楽をやっている人などは、すいとぴあ江南へ来て仲間を増やしたいと思うことや、自分たちの活動に対して理解がほしい、というところを、すいとぴあ江南を使って拡大していきたいのではな

いかと考える。

また、市外からの来訪者はすいとびあ江南を拠点にマラソンをする方もいる。市外からの来訪者は車ですいとびあ江南へ来て、ランニングやヘルスルームの利用で汗をかき、大浴場を利用する。健康を作るために活用する目的もあると思われる。

議 長 対象者と機能や活動は一対一で繋がる関係ではないと考える。1つの機能や活動は複数の対象者にも当てはまるし、機能や活動は別の機能や活動を支えることができる。対象者だけを見ると、どうしても個人の立場を優先してしまうが、機能や活動とともに整理をすると、優先順位がつけやすくなるのではないか。

委 員 誰のためにどのような機能や活動が必要かという考えではなく、どのような機能や活動だと誰のためになるか、とした方が色々な対象者に当てはまるかもしれないので考えやすい。

議 長 今回は難しい議論だったが、多くの対象者に関わる機能や活動が優先になりそうだと感じた。

時間の関係上、意見の整理はできていないが、大体の方向性はこのようだと思う。次回は個別事象を一般化した表現に落とし込んだ資料により検討を進められたらと思う。

4. 次回開催日程の調整

議 長 次回開催日程の調整について、事務局に説明等を求めた。

事務局 次回の運営委員会は、10月7日（水）13時30分から市役所で開催を予定している。

【委員から意見あり、後日改めて日程を調整することとした】

※後日、調整により10月13日（火）14時からの予定となった。

閉会 午後4時15分